

算命学中庸

【初年】 5 6 回目

5 6 回目の授業はこのページからです。

授業科目 【天中殺論】 (2)

【初年】 5 6 回目 【天中殺論(2)】 「陰占天中殺」 01

□ 陰占天中殺 (いんせんてんちゅうさつ)

前回の 55 回目 【天中殺論(1)】 では、序論ということで、

「こうてんてんちゅうさつ後天天中殺」は 12 年間のなかで〔2 年間〕の天中殺があり、1 年間のなかで〔2 ヶ月間〕の天中殺があり、1 ヶ月のなかにも〔すうじつ数日〕の天中殺があり、20 年間の「たいうんてんちゅうさつ大運天中殺」もあります。

たいうん大運は 10 年単位なので、陰陽で 20 年間になるわけです。

これらの後天天中殺のほかに「しゆくめいちゅうさつ宿命天中殺」があります。

宿命天中殺は、生まれながらに、宿命のなかに天中殺をもつ宿命をいいます。

宿命天中殺には「生年中殺」^{せいねんちゅうさつ}とか多数の宿命があります。ということで、それらの名称を列挙しました。

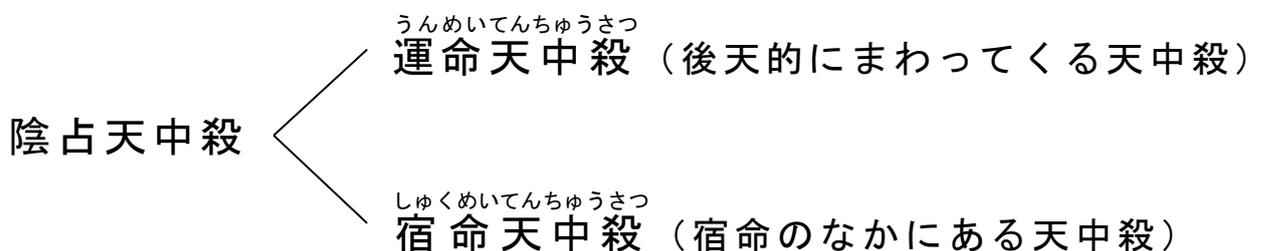
加えて……天中殺に「良いとか」「悪いとか」論ずることはできないわけです。そのことも記載しました。

⇒ ^{いんせんてんちゅうさつ}「陰占天中殺」の授業に入ります。

「陰占天中殺」は、大きく分けると……、
^{うんめいてんちゅうさつ}運命天中殺と^{しゅくめいてんちゅうさつ}宿命天中殺があります。

運命天中殺は、^{こうてんうん}後天運にまわって来る天中殺です。
その意味で通常は「^{こうてんてんちゅうさつ}後天天中殺」といいます。

^{しゅくめいてんちゅうさつ}宿命天中殺は、生まれながらに^{しゅくめい}宿命のなかに存在する天中殺です。通常は「^{しゅくめいちゅうさつ}宿命天中殺」と短くいいます。



👉 ここからはつぎのように呼称します。

「運命天中殺」を「後天天中殺」こうてんでんちゅうさつ

「宿命天中殺」を「宿命中殺」しゅくめいちゅうさつ

👉 こうてんでんちゅうさつ 後天天中殺というのは……、

2018年(平成30年)はいぬとし (戌年)です。

2019年(令和1年)はいとし (亥年)です。

2018年と2019年の2年間はいぬ (戌)とい (亥)のとし年になります。この2年間で天中殺になる人は、いぬい (戌亥)の後天天中殺になります。名称は『いぬいてんちゅうさつ 戌亥天中殺』です。

天中殺表

甲寅 51	甲辰 41	甲午 31	甲申 21	甲戌 11	甲子 1
乙卯 52	乙巳 42	乙未 32	乙酉 22	乙亥 12	乙丑 2
丙辰 53	丙午 43	丙申 33	丙戌 23	丙子 13	丙寅 3
丁巳 54	丁未 44	丁酉 34	丁亥 24	丁丑 14	丁卯 4
戊午 55	戊申 45	戊戌 35	戊子 25	戊寅 15	戊辰 5
己未 56	己酉 46	己亥 36	己丑 26	己卯 16	己巳 6
庚申 57	庚戌 47	庚子 37	庚寅 27	庚辰 17	庚午 7
辛酉 58	辛亥 48	辛丑 38	辛卯 28	辛巳 18	辛未 8
壬戌 59	壬子 49	壬寅 39	壬辰 29	壬午 19	壬申 9
癸亥 60	癸丑 50	癸卯 40	癸巳 30	癸未 20	癸酉 10
子丑	寅卯	辰巳	午未	申酉	戌亥
12・1	2・3	4・5	6・7	8・9	10・11



「甲子1」～「癸酉10」までが『戌亥天中殺』の範囲です。10-11は、10月11月という意味で付記してあります。

天中殺表 を見るとわかるように……、

1年の中で10月と11月は『戌亥天中殺』の月になります。
10月と11月の2ヶ月間といっても、10月の節入り日は
10月8日ですが、節入り日が10月9日になる場合もあります
から注意が必要です。ゆえに、干支歴で確認します。

※ 10月8日が節入り日だと、10月8日～12月7日までの
2ヶ月間が『戌亥天中殺』の月になります。

※ 10月9日が節入り日だと、10月9日～12月8日までの
2ヶ月間が『戌亥天中殺』の月になります。

☞ 後天的にまわって来る「^{こうてんてんちゅうさつ}後天天中殺」には……
「^{ねんうん}年運」「^{げつうん}月運」「^{にちうん}日運」「^{たいうん}大運」の4つあります。

後天天中殺は「年運、月運、日運、大運」の4つある。

4つの後天天中殺なかで、算命学が重要視しているの
は、「^{ねんうんてんちゅうさつ}年運天中殺」と「^{たいうんてんちゅうさつ}大運天中殺」です。
このことは、運勢を観る話のなかでも、ご説明したと
思います。

〔たとえば〕結婚する時期の天中殺ということでは、年運
と大運は当然ですが、月運も日運も観るとよいですね。

大きく影響するのは、年運天中殺と大運天中殺です。
月運と日運がまったく影響がないとはいえません。
でも、影響力は少ないと考えておいてください。
小さな苦勞・心配事は起りやすいといえます。

☞「宿命中殺」は、生まれながらに宿命のなかに存在している天中殺です。

「生年中殺 せいねんちゅうさつ」

「生月中殺 せいげつちゅうさつ」

「生日中殺 せいじつちゅうさつ」

「宿命二中殺 しゅくめいにちゅうさつ」

「宿命三中殺 しゅくめいさんちゅうさつ」

↪ (宿命全中殺 しゅくめいぜんちゅうさつ) ともいいます。

「互換中殺 ごかnちゅうさつ」

「同一中殺 どういつちゅうさつ」

「相互中殺 そうごちゅうさつ」

「日座中殺 にちざちゅうさつ」

これらの宿命中殺は【天中殺論(1)】でも記載しました。

〔たとえば〕 『^{うまひつじてんちゆうさつ}午未天中殺』 ㊀

宿命を出すときには、天中殺範囲を書いてください。

宿命を観るうえで、天中殺範囲は必ずつかいます。

	29	18	7	十二支	干支番号	
	壬	辛	庚	甲申	21	
午	辰	巳	午	乙酉	22	
未				丙戌	23	
天中殺範囲				丁亥	24	
				戊子	25	
				己丑	26	
				庚寅	27	
				辛卯	28	
				壬辰	29	
				癸巳	30	
				甲午	31	あまった（十二支）
				乙未	32	
				丙申	33	午と未 が天中殺範囲

☞ 年支に天中殺範囲があると「^{せいねんちゆうさつ}生年中殺」といいます。この宿命は、年支に（午）がありますから「生年中殺」になります。年支に（未）があっても「生年中殺」ですよ。

〔たとえば〕 『辰巳天中殺』 ^{たつみてんちゅうさつ} ㊀

	39	18	7	十千	十二支	千支番号
	壬	辛	庚		甲午	31
辰	寅	巳	午		乙未	32
巳					丙申	33
天中殺範囲					丁酉	34
					戊戌	35
					己亥	36
					庚子	37
					辛丑	38
					壬寅	39
					癸卯	40
					甲辰	41
					乙巳	42
					丙午	43

あまった（十二支）
辰と巳が天中殺範囲

☞ 年支に天中殺範囲があると「生年中殺」^{せいねんちゅうさつ}といいますが、
月支に天中殺があると「生月中殺」^{せいげつちゅうさつ}といえます。

〔たとえば〕 『辰巳天中殺』 ㊟

	39	18	53		千支番号	
	壬	辛	丙		十二支	
	寅	巳	辰		十干	
辰					甲午	31
					乙未	32
					丙申	33
					丁酉	34
					戊戌	35
					己亥	36
					庚子	37
					辛丑	38
					壬寅	39
					癸卯	40
					甲辰	41
					乙巳	42
					丙辰	53
					丁巳	54

天中殺範囲

☞ 年支に天中殺範囲があると「生年中殺」といいますが、
 月支に天中殺があると「生月中殺」といいます。
 ㊟ のように、「生年中殺」と「生月中殺」の両方があると
 「宿命二中殺」といいます。

1セットですから ⇒ ㉔は年支（午）だけでなく、年干の「庚」の天中殺です。

つまり「年干支」が天中殺になります。

1セットですから ⇒ ㉕は月支（巳）だけでなく、月干の「辛」も天中殺です。

つまり「月干支」が天中殺になります。

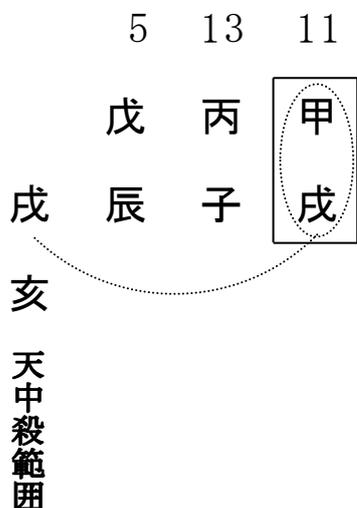
1セットですから ⇒ 「宿命二中殺」㉖は年支（辰）だけでなく、年干の「丙」も天中殺です。

1セットですから ⇒ 月支（巳）だけでなく、月干「辛」も天中殺です。

「宿命二中殺」は、年干支と月干支が天中殺になります。

☞ ^{いぬいてんちゅうさつ}『戌亥天中殺』 ㉗ を例にして、1セット（1組）という意味の説明をします。 ➡09 頁

☞ 『戌亥天中殺』 ④



この宿命は『戌亥天中殺』ですから、(年支) が天中殺になります。

(年支) が天中殺ですが、同時に「年干」の部分も天中殺に入ると考えてください。

つまり、年支だけではなくて、その上に載っている十干の「甲木」も天中殺になります。

それゆえに、本来は(年支)だけが、中殺の影響を受けませんが、干支というのは「十干」と(十二支)で1セットになっているわけです。

〔たどえていえば〕⇒ 地震で一階が崩れたら、二階も崩れるようなものです。

「天干」も(地支)も、両方が天中殺状態になると考えてください。

空間「天干」と時間（地支）は、切り離せない関係ですから、両方が天中殺になります。

干支は1セット……ということは、「甲戌」という年干支が不自然になっているわけです。

生年中殺というのは、「年干支」そのものが不自然になっている状態です。そのため「年干支」に異常な現象が起ります。不完全な状態になります。

そうしますと、「年干支」は人物で誰の場所なのかといえ、年干支は両親の場所です。

そこが不完全ですから、“両親との縁が薄い”という状態がつけられることになります。

「年干支」が不完全ということは、両親と縁が薄いということです。

ただし、親と縁が薄いと言っているだけで〔親がいない〕とは言ってはいません。親はいますよ。

親がいても、親との縁が薄いのです。

もし、親がいないのであれば、親との『縁』もないわけです。

このような宿命を宿命しゅくめいちゆうさつ中殺といえます。

❖ Bさんが^{せいげつちゅうさつ}生月中殺をもっているということなら、
Bさんは自分が生まれた^{つき}月が中殺されているという
意味です。

〔たとえば〕江^{こう こうけつ}宏傑は生月中殺の宿命です。

日干支「癸丑50」の江宏傑は「寅卯天中殺」です。

1977「己巳」生まれのジャン・ホンジェは、自分の天中殺
^{とらづき}の寅月に生まれました。

❖ 江^{こう こうけつ}宏傑（ジャン・ホンジェ）1989-2-22（福原愛の結婚相手）

						大運
	日干支	月干支	年干支			7 乙丑
	癸	丙	己		車騎星	17 甲子
寅 卯 天中殺	丑	寅	巳	車騎星	調舒星	27 癸亥
	癸	戊	戊	天南星	司禄星	37 壬戌
	辛	丙	庚			47 辛酉
	己	甲	丙			57 庚申

生月中殺

生月中殺範圍

実線の枠内はすべて寅卯天中殺範圍

☞〔市川海老蔵〕も〔ジャン・ホンジュ〕も、宿命に中殺をもって生まれてきたわけです。

せいねんちゆうさつ
生年中殺としといたら「自分の生まれた年が中殺されている」ということです。

せいげつちゆうさつ
生月中殺つきといたら「自分の生まれた月が中殺されている」ということです。

☞「生年中殺」なら、自分の天中殺の年としに生まれたわけですから、そこに不自然な状態が起きます。
自分の天中殺の年に生まれたのですから、最初に出会う人たちと縁えんが薄うすいことになります。

生まれながらに天中殺をもっていますから、その子供は最初に出会う人たちとの縁が薄い状態が作られることになります。

生まれて直ぐのときに、人間が人物で誰と出会うのかといえば両親です。

自分の天中殺の「年ねん」や「月つき」に生まれるということは、天中殺のときに出会うことになりますから、生まれた家、生まれた土地、自分の両親と縁が薄いとい

うことになるわけです。
そのように考えてください。

宿命^{しゅくめいちゅうさつ}中殺は生きている限り、一生^{しょうがい}涯つづきます。
そうしますと、先ほどの結婚の話で「天中殺のときに結婚すると不自然な状態が起きます」といいました。
このことは、結婚もそうですが、仕事もおなじです。

〔たとえば〕天中殺で仕事を始めた場合は、その仕事を辞めれば、天中殺との縁^{えん}は切れます。

しかし……宿命^{しゅくめいちゅうさつ}中殺のように、自分の天中殺の年^{とし}に生まれたという事実は……自分が死ぬまで、天中殺をもち続けることになります。

それは「年^{ねん}」でも、「月^{つき}」でもです。

つまり「生年^{せいねんちゅうさつ}中殺」も「生月^{せいげつちゅうさつ}中殺」もおなじです。

そこが「宿命^{しゅくめいちゅうさつ}天中殺 = 宿命^{しゅくめいちゅうさつ}中殺」と

「運命^{こうてんてんちゅうさつ}天中殺 = 後天天中殺」との違いです。

宿命^{しゅくめいちゅうさつ}中殺は一生、天中殺の影響を受け続けることになります。

「だからどうなるの……？」という勉強をこれから進めていくことになります。

☞ 自分の「天中殺の日」に生まれることは出来ません。

〔たとえば〕日干支が「壬辰」の場合であれば……

（辰）が誕生した日（生まれた日）に当たりますが、必ずしも（辰）にはなりません。

これはやってみるとわかることですが、生まれた日（辰の日）は、どんな場合も天中殺にはなりません。

「十干」と（十二支）を照らし合わせて、余った部分が天中殺になりますから、絶対にならないわけです。

せいじつちゅうさつ
「生日中殺」というがあります。

生日中殺は〔生まれた日の中殺されている〕ことです。

「生日中殺」の場合は、「生年中殺」「生月中殺」とは別な観方をします。

それは「生日中殺」のところで説明します。

【初年】56回目【天中殺(2)】 **終わります**

つぎの授業 ⇒ 【初年】57回目【天中殺(3)】です。